



(まえがき)

(Citation)

Rokko Lectures in Mathematics, 07. パンルヴェ方程式の眺望

(Issue Date)

2000

(Resource Type)

other

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81001102>



まえがき

このレクチャーノートは、昨年 10 月に神戸大学で行った研究集会“パンルヴェ方程式の大域解析”の講演者に、講演内容を分かりやすく書いてもらい、それをまとめたものである。日本の学生、院生に気軽に読んでもらうために、二人のイタリア人研究者以外には日本語で書いてもらった。パンルヴェ方程式関係の手軽な入門書がまだ少ない状況なので、このレクチャーノートがこの方面に興味をもつ若い人の役に立つことを期待している。

10 年程前に“From Gauss to Painlevé” (岩崎克則、木村弘信、下村俊、吉田正章共著、Vieweg) の出版が計画されたとき、“21 世紀の特殊函数論の中心はパンルヴェ函数だ”というスローガンを掲げた。その頃にはすでに、岡本和夫さんの初期値空間やベックルト変換についての研究、梅村浩さんの還元不能性の研究などがあったが、それ以後の進展を見るとこのスローガンもあながち誇大広告ではないような気がする。100 年前にはポアンカレが評したように“絶海の孤島”であった“パンルヴェ方程式”に、数学大陸からの橋が渡されつつあるとあってよいだろうか。

パンルヴェ方程式に興味を持つ人の思いはそれぞれに違うので、これからどのような展開がありうるかは予想しないほうがよいだろう。このレクチャーノートが若い人の役に立つようにという期待を述べたが、もちろんこれにとらわれない自由な発想が大事であると思う。

このレクチャーノートの作成作業はすべて神戸大学の同僚福山克司さんがして下さった。厚く御礼申し上げます。

2000 年 3 月

高野恭一、野海正俊